

じゅこう

盂蘭盆会 中止(内勤め)

八月十五日、今年の盂蘭盆会は新型コロナウイルスの四回目の緊急事態宣言が発出されたため、やむなく中止とさせていただきます。来月がどうなっているか、先のこととは分からない。十年、二十年と長く続けていくためには、この一回でもしものことがあってはならない、という言葉を総代さんからいただき、参拝のご案内は中止として、寺族のみでおつとめをさせていただきますました。



七月号の「じゅこう」で浄覚寺本堂の現状をお伝えしましたが、この問題を今どのように検討しているかお話しさせていただきます。と思います。

まず、令和二年一月中旬のことですが、本堂西側の屋根が折れ曲がっていることが確認されました。後堂(本堂奥の廊下のこと)に木片が落ちて、上を見上げると、天井は剥がれ、屋根を支える柱も折れていることが分かりました。外へ出て、道路から以前の写真と見比べてみると、やはり大きく折れ曲がり、樋でかろうじて瓦が落ちずに保っているという状態でありました。すぐに役員・総代へ連絡を取り、現場の確認と対応

第29号
(通算369号)

発行元
浄土真宗本願寺派
吉富山 浄覚寺
大阪市平野区
長吉長原3-1-10
06-6790-8350

浄覚寺 本堂



策を話し合いました。もちろん、このままで放置はできませんので、折れ曲がった屋根は支柱で支え、剥がれた後堂の天井はその下に仮の天井を付けることで応急処置をすることとなりました。その上で今後、本堂をどうしていくかについても検討していくことになりました。

その後一ヶ月後半から三月にかけては、幾度となく門信徒会会長との話し合いや、役員会根は支柱を入れて持ち上げてもらいましたが、瓦を載せている柱や下地は折れたままとなっていますので、どのように修復するかの議論を重ねました。下地は直さず、ずれた瓦だけを直すのか、部分的に瓦を下ろし、下地を直して瓦を載せ直すのか、など。見積もりを取り色々な案を検討しましたが、持ち上げてもらったことにより屋根は安定していること、修理をすることに、よりさらに瓦が割れてしまう危険性があること、折れたところは底部分であるので後堂以外に影響がないこと、など雨漏り等がないのであればこの状態を維持していくことになりました。一方でいつまでもこのままではいけないということで、本堂再建に向けて積み立てを行いたいとの趣意書の作成も少しずつ行っていくことになりました。

浄覚寺ヨガ教室

- ・9月15日(水) 10時~11時半
- ・参加費500円
- ・浄覚寺本堂にて

※緊急事態宣言が延長されれば中止させていただきます

たった一言が人の

心を傷つける

たった一言が人の

心を温める



仏教語辞典



一念発起

仏教では「いちねんぼつぎ」と読む。一念は「仏に帰依する心」を意味し、発起は「さとりを求める決意をする」ことをあらわしている。仏の救いが自分に届いていることに気づいた瞬間ともいえる。そこから一般に決意を表明する意味となった。

『気になる仏教語辞典』
著・麻田弘潤 誠文堂新光社
仏教にまつわる用語をイラストとわかりやすい言葉で読み解かれています。ぜひお買い求めください。

前日の大雨により本堂南東部から雨漏りが起こりました。夜中のことでしたので対応できず、畳二枚が水浸しになってしまいました。風の向きと雨の量が重なった時には、その後も数回、同様の箇所から雨漏りを確認しています。さらに、翌年の三月二十八日には内陣の南余間で雨漏りがありました。その時には天井に雨粒の音がありましたので、前もって掛け軸二幅を外すことができ、雨漏りは起こりませんがなんとか難を逃れることができました。

最初の雨漏りを受けて、このままではいけないということになり、本堂再建に向けての話し合いを加速させていきました。まずは歴代の役員さんへ説明し、意見を伺いました。コロナ禍でもあり、思うように進まないところもありましたが、趣意書の原案を修正して、運営委員会へも諮った上で、浄覚寺門信徒会の臨時総会を開催することになりました。また、この検討の中で、会則を確認したところ、現在の運営方法と会則に明らかな違いを発見し、これまでの慣習を踏まえ、会則の改正も願うこととなりました。

以前の「じゅこう」でもうことになり、本堂再建に向けての話し合いを加速させていきました。まずは歴代の役員さんへ説明し、意見を伺いました。コロナ禍でもあり、思うように進まないところもありましたが、趣意書の原案を修正して、運営委員会へも諮った上で、浄覚寺門信徒会の臨時総会を開催することになりました。また、この検討の中で、会則を確認したところ、現在の運営方法と会則に明らかな違いを発見し、これまでの慣習を踏まえ、会則の改正も願うこととなりました。

「御文章に聞く」はお休みさせていただきました。

行事案内

日時・九月二十三日(祝) 十四時より
行事・秋季彼岸会
場所・長原浄覚寺
法話・石崎博叙先生(大阪)

※緊急事態宣言が延長されれば法要は中止します

十月十六日(土) 十四時・十九時
永代経法要 法話若林真人先生

編集後記

今月も「じゅこう」をお届け致します。七月号の「じゅこう」に引き続き、当山本堂の現状をお伝えさせていただきました。お知りおきいただきますよう、宜しくお願い致します。八月三十日、二回目のワクチン接種を行いました。翌日は予想通りに発熱し、全身の痛みと倦怠感に襲われ、一日中床に伏しておりました。ふと気がつけば、娘の人形たちが枕元に勢揃い。ずっと側にはいられないので、私の応援を託したのだそうです。まだ少し痛みは残っていますが、ワクチン接種を終えられた安心とともに、家族のぬくもりを感じる事ができた良い経験となりました。(釋法道)